

第6編

第1回

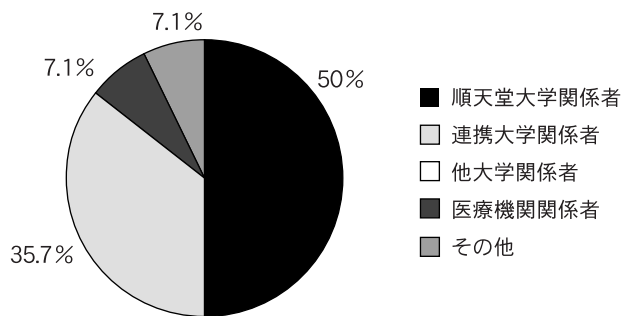
がん生涯教育センター国際シンポジウム 「New Era of Cancer Education」

(がん教育について考える)

アンケート集計結果

1. アンケート集計結果

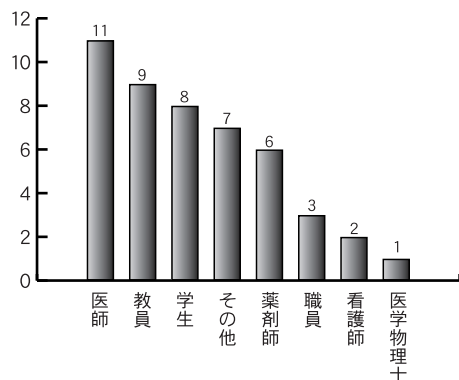
1-1 参加者の所属



順天堂大学関係者	21
連携大学関係者	15
他大学関係者	0
医療機関関係者	3
その他	3
合計	42

(回答者数：42、回答数：42)

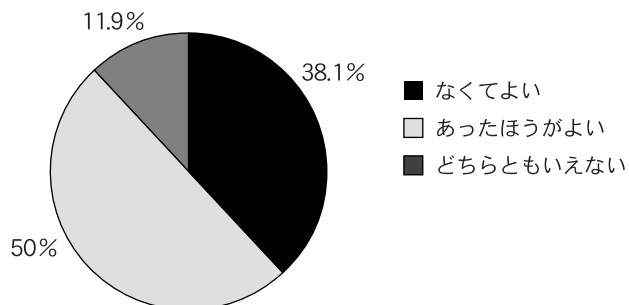
1-2 参加者の職種



医師	11
看護師	2
薬剤師	6
医学物理士	1
教員	9
職員	3
研修医	0
学生	8
その他	7
合計	47

(回答者数：42、回答数：47 (複数回答))

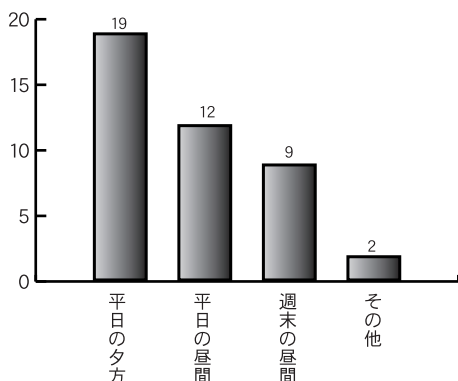
1-3 同時通訳について



なくてよい	16
あったほうがよい	21
どちらともいえない	5
その他	0
合計	42

(回答者数：42、回答数：42)

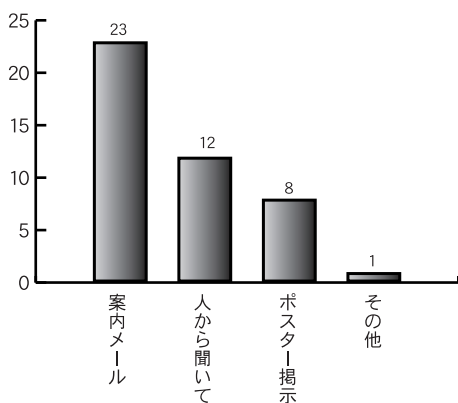
1-4 開催時間について



平日の昼間	12人
平日の夕方	19人
週末の昼間	9人
その他	2人
合計	42人

(回答者数：42、回答数：42)

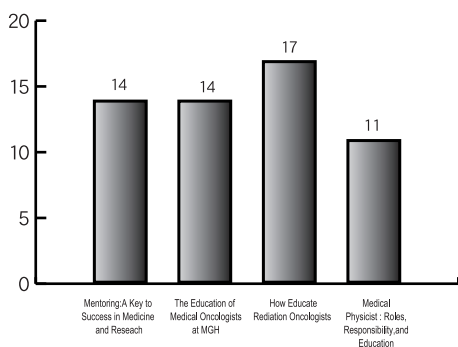
1-5 シンポジウムの参加のきっかけ



案内メール	23人
ポスター掲示	8人
人から聞いて	12人
その他	1人
合計	44人

(回答者数：42、回答数：44 (複数回答))

1-6 興味のある講演について



Mentoring: A Key to Success in Medicine and Research	14
The Education of Medical Oncologists at MGH	14
How to Educate Radiation Oncologists	17
Medical Physicist: Roles, Responsibility, and Education	11
合計	56

(回答者数：42、回答数：56 (複数回答))

1-7 講演1 ("Mentoring:A Key to Success in Medicine and Research") についての感想

- ① アメリカの Mentoring について詳しく紹介しました。勉強になりました。
- ② シニア Dr.として良い指導医になるための心得が学べた。
- ③ 系統だてた内容で非常に興味深かった。
- ④ 米国での教育に対する重視を知り感銘した。
- ⑤ 聴講できませんでした。
- ⑥ 「教育」はとても難しいと思います。しかし、組織・チームの中で、支援していき、よりよい医療を提
供できるよう努力していきたいと思いました。
- ⑦ 総じて、今後の自分の教育ならびに教育システムの構築に役に立ちました。ありがとうございます。
- ⑧ 医療と研究における成功について良い idea をいただきました。
- ⑨ mentoring が faculty development において重要であることがわかった。日本の文科省がしている FD
がいかに狭いかも同様に良くわかった。
- ⑩ がん治療にかかわる医療職の責任は重い。メンタリングの重要性がわかった。
- ⑪ 日本においてもメンタリングプログラムの必要性を感じました。
- ⑫ mentoring について教えられた。Good.
- ⑬ 講演の仕方がわかりやすかった。
- ⑭ mentoring の重要性の説明があったが、日本ではスタッフへの個人的指導の系統的なアプローチがなく、
良く理解できなくなった。

1-8 講演2 ("The Education of Medical Oncologists at Massachusett General Hospital") についての感想

- ① アメリカの医療教育のことを紹介しました。いい勉強になりました。
- ② oncologist 育成の how to
- ③ わかりやすかった。内容も良かった。
- ④ やや概論的であった。
- ⑤ 聴講できませんでした。
- ⑥ MGH での具体的な例があげられていて、臨床腫瘍医の教育・育成のイメージがつきやすかった。
- ⑦ 具体的な教育体制ができており、ローテーションをしながら様々な科をみることは、大切だと思います。
幅広い教育を受け、その中で専門を深めていくことは重要だと思います。
- ⑧ 腫瘍内科医、血液内科医の education の重要があることをわかりました。
- ⑨ 腫瘍専門医の存在とその教育システムについて理解した。日本ではこれからであるが。
- ⑩ medical Oncologists education の MGH での方法がわかった。Good.
- ⑪ 実例が良かった。
- ⑫ MGH での Medical Oncologists が急に整備されているとの説明を聞いたが日本でも設備してもらいた
い。

1-9 講演3 ("How to Educate Radiation Oncologists") についての感想

- ① 講演の方は日本の医療現場をよく存知しています。日本によく役に立ちます。
- ② talk が大変愉快で楽しめた。
- ③ わかりやすかった。統計に加えて具体的な教育プログラムの提示もあるとよりよかった。
- ④ 大変パワフルな講義で最もおもしろかった。
- ⑤ 日本の差に驚きました。人数も施設数も。教育、育てていくということを考えさせられました。
- ⑥ 日米間のギャップを解決するためには？
- ⑦ アメリカでの放射線腫瘍医の育成に、あれほど時間がかけられていたのにおどろいた。今後日本でも Rad は重要になってくると思うが、あれだけ時間をかけた医師や専門家が継続して働ける環境も重要だと感じた。
- ⑧ これからのがん医療において、患者さんの負担が少ない放射線は、大切な治療です。いかに教育するかは大きな課題だと思います。
- ⑨ 米国における放射線治療医の現状がわかった。
- ⑩ 米国では腫瘍専門の職種がいろいろあり、充実していることがわかった。
- ⑪ 放射線腫瘍医の日本とアメリカの違いに驚きました。
- ⑫ Good. (日米の radiation oncologists がよくわかった)
- ⑬ Dr. Komaki は日米の放射線腫瘍学・臨床を理解していて橋渡しとしてよく解った。

1-10 講演4 ("Medical Physicist: Roles, Responsibility, and Education") についての感想

- ① アメリカの医学物理士を養成することを講演しました。勉強になりました。
- ② 放射線科医不足の深刻さがよくわかった。
- ③ 特殊な分野なので時間配分が少なくてもよかったのではと思う。
- ④ 未知の分野で興味深く聞かせていただいた。
- ⑤ 物理士について日米比較は？
- ⑥ komaki 先生も出されていたが、米国におけるガイドラインや患者数・医学物理士の数など、日本では必要性が理解されてきはじめているのに、まだまだ不足していると実感した。
- ⑦ 他に研修に行くなどして、視野を広げ、よりよい医療が行えるよう頑張りたいと思いました。
- ⑧ 良い腫瘍医になるために良好な、最新の知識を持つことは重要である。
- ⑨ Medical Physicist についての理解が深まった。
- ⑩ 教育のガイドラインの必要性、教育の成功秘訣は オープン EBM
- ⑪ Good. (medical physicist についてわかった)
- ⑫ Medical Physicist の役割を良く説明してくれて良かった。

1-11 パネルディスカッションについての感想

- ① いい勉強になりました。
- ② not special.
- ③ 医療の公平性？経済的効果は？小牧先生欠席残念！
- ④ 語学力が不足しており、パワーポイントで表わされないと理解が難しかった。
- ⑤ 興味深く聞きました。
- ⑥ それぞれの思いが話し合われていたと思います。よかったです。
- ⑦ Good.
- ⑧ 米国でさえ、資金を得るのは大変だと感じた。日本は？

1-12 今後「がん生涯教育センター」に企画してもらいたいイベントについて

- ① アメリカのがんについて研究 Program の紹介、説明を企画してもらいたいです。
- ② Volunter を含めた海外のホスピスケアについて。日本はどうすべきか？
- ③ 今後も教育プログラムを続けていただきたい。
- ④ 看護師の立場から又薬剤師の立場からもっと別の職種の立場からの演者の講演を期待します。
- ⑤ medical care に経済性を考慮導入すべきか？
- ⑥ チーム医療、がん性疼痛。
- ⑦ 緩和医療。
- ⑧ 医療は医学だけではないと思います。看護や他の職種の話も入れてほしいと思います。
- ⑨ Role of comedical staff in medical Oncology のようなもの。

1-13 資料編

2008年2月20日 開催

主催／順天堂大学がん生涯教育センター 後援／新潟大学、東京理科大学、明治薬科大学、立教大学

第1回がん生涯教育センター国際シンポジウム「がん教育について考える」アンケート

本日のシンポジウムについて、今後の参考にいたしますのでご意見等をお聞かせください。

1 貴方のご所属を教えてください。 (該当するものに○をつけてください。)

- ①順天堂大学関係者 ②連携大学(新潟大学、東京理科大学、明治薬科大学、立教大学)関係者
③他大学関係者 ④医療機関関係者 ⑤その他()

2 貴方の職種を教えてください。 (該当するものに○をつけてください。)

- ①医師 ②看護師 ③薬剤師 ④医学物理士 ⑤教員
⑥職員 ⑦研修医 ⑧学生 ⑨その他()

3 同時通訳があったほうが良いとお考えでしょうか。

- ①なくてよい ②あったほうがよい ③どちらとも言えない ④その他()

4 開催時間はいつが望ましいですか。

- ①平日の昼間 ②平日の夕方 ③週末の昼間 ④その他()

5 何をご覧になって本シンポジウムにご参加になりましたか。 (該当するものに○をつけてください。)

- ①順天堂大学からの案内メール ②ポスター掲示を見て ③人から聞いて
④その他()

6 どの講演に興味があり参加申込をしましたか。

- ①“Mentoring: A Key to Success in Medicine and Research”
②“The Education of Medical Oncologists at Massachusetts General Hospital”
③“How to Educate Radiation Oncologists”
④“Medical Physicist: Roles, Responsibility, and Education”

7 講演1についてご感想をお聞かせください。**8 講演2についてご感想をお聞かせください。****9 講演3についてご感想をお聞かせください。****10 講演4についてご感想をお聞かせください。****11 パネルディスカッションについてご感想をお聞かせください。****12 今後「がん生涯教育センター」に企画してもらいたいイベントはありますか？****13 本シンポジウム、またはがん生涯教育センターについてご意見があれば、裏面にご記入ください。**